

UEDA MOVIE THEATER JOURNAL

vol.53 TAKE FREE

2022.JAN

1

上田映劇 ジャーナル

映画に演劇、美術や音楽
街のアートを楽しむための冊子

Movies, plays, art and music
Booklet for enjoying the art of the city



表紙切り絵「さよなら、ティラノ」より

上田映劇 今月の PICK UP MOVIE

『ボストン市庁舎』

【コラム】市長は、理想を掲げ、理念を語る 文：田村志津枝

EIGEKI COLUMN, SHOP, BOOKS, ART WORKS, etc....

本誌に掲載されている上映や企画につきましては、新型コロナウイルス等、その他諸事情により急遽中止・延期等させていただく場合がございます。その都度当館ホームページでお知らせ致します。あらかじめ、ご了承くださいませ。



PICK UP MOVIE



© 2020 Puritan Films, LLC - All Rights Reserved

ボストン市庁舎

[2020年/アメリカ/英語/1.78:1/モノラル/274分]
監督・製作・編集・録音：フレデリック・ワイズマン

“ようこそ、市民のための市役所へ。”

巨匠フレデリック・ワイズマン最新作。
警察、消防、保健衛生、出生、結婚、死亡記録、数百種類ものサービスを提供するボストン市役所の挑戦。

アカデミー名誉賞に輝く巨匠フレデリック・ワイズマンの「集大成」『ニューヨーク公共図書館 エクス・リプリス』で知られるドキュメンタリー界の“生ける伝説”フレデリック・ワイズマンが選んだ新作の舞台は、ワイズマン生誕の地でもあるマサチューセッツ州のボストン市庁舎。カメラは飄々と市庁舎の中へ入り込み、市役所の人々とともに街のあちこちへ動き出す。そこに映し出されるのは、警察、消防、保健衛生、高齢者支援、出生、結婚、死亡記録など、数百種類ものサービスを提供する市役所の仕事の舞台裏。
今コロナ禍で問われる「市民のための市役所」とは？

[上映日程] 1/15~28 (休映：1/17、24)

[特別鑑賞料金] (一般) 2,800円、(シニア・学生) 2,500円
(障がい者) 2,000円、(前売り) 2,500円

『ボストン市庁舎』公開記念「市役所割」実施！

市役所で働く職員の皆さまに特別料金にてご覧いただけます。

「市役所割」実施決定

(* 都道府県・区などの役所も含まれますが、教師や警察などを含む公務員割ではありません。)

* 割引適用方法：劇場窓口にて「職員証」または職員証に準ずるものを窓口でご提示ください。

* 割引詳細：当日料金¥2,200 (通常当日¥2,800の処)にてご鑑賞いただけます。

* 窓口でのチケットご購入のみでの適用となります。オンラインチケットのご予約ではお使えません。

アフタートークイベント

映画『ボストン市庁舎』から考える
「市民のための市役所」とは？

・トークイベントのみの参加はできません。

予約優先。下のQRコードより、座席の予約をお願いします。

[開催日] 1月22日(土)

[時間] 上映：13時～(上映後トーク/19時終了予定)

[会場] 上田映劇別館「トラウム・ライゼ」(上田市中央1-6-13)

[登壇者] 上田市長 土屋陽一

市政をたのしむユニット：ゆるりと◎
(吉澤まほ/やぎかなこ)



市長は、理想を掲げ、理念を語る

フレデリック・ワイズマン監督は90歳でこの映画を制作した。それまで44本のドキュメンタリーと2本の劇映画で、アメリカのさまざまな側面を表現してきた。今回はアメリカの縮図のような多くの民族・文化が入り混じる大都会の市役所を舞台に、アメリカの政治を考えてみようとしたという。優れた市長を擁する6都市に取材を申し込むと、ボストンのウォルシュ市長から返信があった。ボストンは偶然にもワイズマン監督の生誕の地。作中にはさまれる街並みのショットには、子供時代を過ごした場への懐かしさが滲み出る。

映画は全篇が行政の各部署で交わされる対話で埋め尽くされている。市役所職員同士あるいは専門家を招いて行う討議、市民との話し合い、市長が市民や職員に語りかける言葉。どれもが簡潔で的確に要点を突いていて、聞いているだけでも心地よい。しかもあつかう課題はゴミや交通渋滞などはもちろん、大麻の合法化、貧富の格差解消、銃規制、少数派に対する差別の解消と、困難が山積みだ。

なぜボストン市が、果敢に難題に立ち向かい、明快な解決策を打ち出しているのか。市当局者のさまざまな発言を聞くうちに次第に分かってくる。「行政は人々が共に幸せに暮すためあるのだ」というのが、市役所職員の共通理念なのだ。だから貧困、高齢者、看護師不足などの問題も、すべて困っている人を救う目的で議論が進む。大麻店出店者と地元住民の緊迫した話し合いは、民主主義の原点を見せてくれる。退役軍人の集いは、歴史を重視し過ちを繰り返すまいとする市長らの姿勢を際立たせる。同性婚カップルの結婚式、経営難の高校を存続させようとする話し合いなどは、まさに血が通った市政だと言える。

行政に携わる人は、理想を掲げて、心底から理念を説いてほしいと強く感じた。そういう行政を作り上げるために、私たち市民は何をすべきか。どのように行政に食い込んで自分たちの意見を反映させられるか。この作品には多くのヒントがありそうだ。

tamura shizue
田村志津枝

ノンフィクション作家。一方で大学時代から自主上映や映画制作などに関わってきた。1977年にファスビンダーやヴェンダースなどのニュー・ジャーマン・シネマを日本に初めて輸入、上映。1983年からハウシャオシエンやエドワード・ヤンなどの台湾ニューシネマ作品を日本に紹介し、その後の普及への道を開いた。



上田映劇 × NABO 「ミシマ社」フェア開催中！

開催中～2月末ころまで

「一冊入魂」の出版活動をおこなう出版社、「ミシマ社」のフェアを上田映劇ロビーにて開催しています！上田映劇スタッフと、上田映劇から歩いて5分の本屋「NABO（ネイボ）」スタッフが選んだ本が熱いPOPつきで並んでいます。12月末に本の追加もしたので2度目の方もぜひどうぞ。

オススメ！

『みゃーこ湯のトタンくん』

12月に出版ばかりの、漫画家「スクラッコ」さんの新作。舞台はネコの街の銭湯！みゃーこ湯を営むトタンくん、街で唯一の人間ハラさんの織りなす銭湯 × ネコ × 小商いの日常をぜひご覧あれ！（NABO スタッフ池上）



『ノーマン・ザ・スノーマン』 お人形たちが映劇にやってきた！

1月の週末こども映画館とうえだ子どもシネマクラブの対象作品『ノーマン・ザ・スノーマン』のお人形たちが劇場にやってきました！昨年も『劇場版ごん - the little fox-』の上映の際にご来場いただいた八代健志監督。その際にも愛おしい「ごん」をはじめ、兵十や加助さんたちを連れてきていただきました。今度も特別に、世界に1体しかない貴重なノーマンのお人形たちを展示させていただけることに！指先や目玉まで細かく動かすことができるお人形たち。微かな動きひとつひとつで表情までも変わるから不思議です。実際のお人形の大きさを観ていただくと、衣装や小道具ひとつひとつの綿密さに驚きます。カバンや靴のステッチや、コートの素材ひとつひとつに込められたスタッフの方達の愛情をぜひ直にご覧ください！

●展示期間：1月23日（日）まで。

●上映期間：1/8～9、15～16、22～23、29～30



そうだ、今日は映画館に行こう！ 【うえだ子どもシネマクラブ】

学校に行きづらい、または行くのをやめてしまった子どもたちのための上映会【うえだ子どもシネマクラブ】。月2回の上映会のほか、水曜日と金曜日には映画館で過ごしていただくことができます。学校に行きづらい日は映画館へぜひお越しください！

●1月17日（月）10:00～『さよなら、ティラノ』

午後は扉の角に移動して、化石を採掘ワークショップ！

●1月24日（月）13:00～

『ノーマン・ザ・スノーマン ～北の国のオーロラ～ / ～流星の降る夜に～』

上映後は八代監督と一緒に、実際のお人形を使ってストップモーションを体験してみましょう！

こちらの上映会は登録制になっています。詳細は劇場窓口または、NPO アイダオ（080-4813-1110）までお問い合わせください。



EIGEKI COLUMN

第50回

一人旅の話



長距離移動する乗りものが好きだ。船は乗ったことがないけれど、バス、電車、新幹線、飛行機などはいくらでも乗っていたい。先日、弘前まで深夜バスで行ってみた。10時間ほど乗っていた。カーテンで各々の空間を区切ることができたので、小さな自分用スペースでバスに揺られ、心地よい時間だった。乗り物酔いしやすいので、読書はできない。スマホの文字も長くは読めない。すると諦めがつく。堂々とぼんやりできる。日頃どれだけ、「スマホを見ないと」という強迫観念にとらわれているかが分かる。

今でもよく思い出す、我が「花の浪人生時代」に行った、金沢・富山の一人旅がある。新宿の映画館でアルバイトに明け暮れ、隙間で予備校に通っていた頃。月に2回は芝居を見る、月に1回は東京から出る、というのを自分に課していたことがあった。初夏、見たかった芝居の東京公演のチケットが取れなかった。悔しさのあまり、富山公演を見に行こうと思い立った。呆れるほど暢気な浪人生。

北陸新幹線はまだ通っていないし、そもそも新幹線に乗るお金などないので、深夜バスで金沢まで行って、鈍行で富山へ、芝居を見て、格安ホテルに泊まることに。次の日は、ついでに実家まで足をのばすことにした。富山から長野まで直接移動することはできないので、新潟を経由することに。この、富山から新潟へ向かう鈍行列車が最高だった。トコトコと少しずつ移動する。停まる駅にはひとけが無く、プラットホームの屋根の下に空気と時間が溜まってじっとしている。次第に列車は海沿いへ。制服姿の学生がどっと乗ってくる。スマホはないのでただ景色を眺める。あれば気持ちよかった旅は他になかなかない。

tsuruoka keiko

鶴岡 慧子 映画監督

長野県上田市出身。当劇場理事。初長編作品『くじらのまち』が、PFF アワード 2012 においてグランプリ & ジェムストーン賞をW受賞、その後世界各国の映画祭にて上映される。2015年『過ぐる日のやまねこ』で劇場デビュー。最新作は西加奈子の同名小説が原作の『まく子』。信濃毎日新聞「シネマ魅どころ」に映画評を隔週連載中。

第32回

ちょっとひと息



来年 2022 年 2 月 23 日（水・祝）に上田市サントミュージゼ小ホールにて開催されるライブコンサートのチケット販売が始まりました。

このコンサートは文化庁子供文化芸術活動支援事業ということで、18歳以下の御子様達を全席の2割にあたる64席を無料ご招待致します。未来を担う子供達が将来の夢や希望を持ち将来に繋いで頂けたらと、思っています。

念願の故郷でのコンサートという事で、1部は朗読、上田市の滝沢さわ子さんが書かれた上田に伝わる民話（太郎山のつじの赤いわけ）、宮沢賢治の（銀河鉄道の夜）をピアノに合わせて朗読致します。2部は、シャンソンやミュージカルをお届けしたいと思っています。ゲストは、ミュージカル俳優の高原紳輔さんをお迎えします。1部の朗読から出演され、2部では、ミュージカルの名曲を歌って頂きます。演奏は、ピアニストの青柳茉莉恵さん。今回朗読中でも演奏をお願いしました。素敵なお二人とご一緒出来ることがとても楽しみです。

上田でコンサートを開催出来る事、本番に向けて作品を作る喜びは、毎日に増してきています。また何よりも上田市の皆様と直接お会いし、親睦を深めていく事が楽しみになっています。

その中で感じたことは、上田の未来を発展させたい、今日より明日を明るくしたいという事を強く感じました。2月のコンサートでは、貴重な時間の中で楽しむ気持ちを一緒に共有できたら嬉しいです。その為にも、本番に向けた準備に邁進したいとおもいます。

2022年も皆様にとって健やかな年でありませう、また、毎月楽しみにして頂けるようなコラムを私自身も楽しんで書き続けたいと思っています。引き続き宜しくお願い致します。

tsukikage hitomi

月影 瞳 元宝塚歌劇団・娘役トップスター

長野県上田市出身。上田市観光大使。当劇場理事。1990年「ベルサイユのばら」で初舞台。入団2年目で新人公演、初ヒロインを演じる。1997年「誠の群像」で星組トップ娘役となる。その後雪組に組替えし引き続きトップ娘役としてミュージカルやショーなどで活躍する。2002年に「愛燃える/Rose Garden」で退団。退団後は舞台、コンサートや映画など、活躍の場を広げている。

vol.47

ピーよりティー 気持ちは $P \leq D$



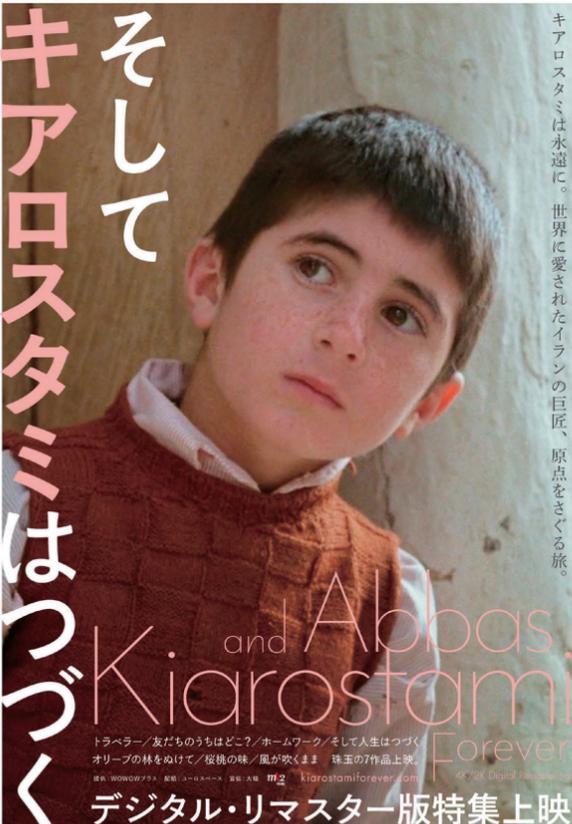
監督志望の僕がプロデューサーになって、独立して最初の長編オリジナル映画『シムソズ』のキャスティングにはどうしても北海道ならではという人が必要だった。僕がこの人だと思ったのは北海道の産んだスター、大泉洋さんだった。チームナックスの東京公演を観に行き、「カーリングが得意だ」ということを確認できた。もうこの人しかいない。当時、オフィスキューとアミューズが提携して、チームナックスは東京進出のタイミングだった。アミューズさんは僕も大好きな事務所さんで親交も深かった。とにかくコーチ役に大泉洋が欲しい。その一心でアミューズの担当者に会い、熱弁を振った。しかし、この映画が東京進出での最初の映画になることと今後の大泉さんの俳優としての方向性などを真剣に考えていた皆さんは簡単に首を縦には振らなかった。アミューズに通い、ついには取締役の市毛さんの通うパーまで行って話を聞いてもらった。あまり飲めないお酒も飲んで、説得しまくった。「北海道の方でカーリングが得意なんて、この役をやるために生まれて来たような俳優さんですよ！」僕はそう言って赤ワインをご一緒した。やがて、市毛さんが「分かったわ、森谷さん。洋ちゃんをよろしくね」と言って下さった。僕はその場で「やったー！」と叫び、その夜はもう何杯かの赤ワインを飲み干した。翌日は史上最高の二日酔いだった。それからというもの、映画の撮影準備に拍車がかかった。取材、ロケハン、脚本直し等を並行して行った。そして、遂に、佐藤祐市監督と大泉洋さんを引き合わせる日がやってきた。忘れもしない、新橋の第一ホテルのカフェだった。壁に素敵な絵が描かれたアールデコ調のおしゃれなカフェで大泉さんを待っている間、僕は監督に「大泉さんはカーリング得意なんで」と力説した。やがて、北海道のスター・大泉洋がスターばくいな感じで現れた。「大泉さん、森谷です。サンシャイン劇場の楽屋でお会いした」「森谷さん。今回はありがとうございます。精一杯、頑張らせていただきます」とまずは固い握手をし、佐藤監督と役柄の話に移行した。佐藤監督が開口一番「大泉さん、カーリングやってらっしゃるんですね？」と切り出した。そしたら、すかさず「いえ、一度もやったことないんですわ」と予想外の言葉が返って来た。僕は狐につままれたような気持ちになった。（つづく）

moriya takeshi

森谷 雄 プロデューサー / 映画監督

愛知県生まれ。株式会社アットムービー代表。当劇場理事。「天体観測」(フジテレビ)、「ザ・クイズショウ」(日本テレビ)、「深夜食堂」(毎日放送)などのドラマをプロデュース。映画作品は『しあわせのパン』(三島有紀子監督)、『曇天に笑う』(本広克行監督)ほか多数。監督作品に『サムライ』がある。最新作は『ミッドナイトスワン』(内田英治監督)。

MONTHLY LINE UP



そして
キアロスタミはつづく

and Abbas Kiarostami Forever

トラベラー/友だちのうちはどこ?/ホームワーク/そして人生はつづく
オリーブの林をぬけて/桜桃の味/風が吹くま 珠玉の7作品上映

デジタル・リマスター版特集上映

キアロスタミは永遠に。
世界に愛されたイランの巨匠、原点をさぐる旅。
イラン映画の巨匠アッバス・キアロスタミ監督の生誕81年、
没後5年を記念して、世界中で愛されるジグザク道三部作を
中心に、初期の珠玉の名作がスクリーンによみがえる。



トラベラー
[1974年/イラン/モノクロ/72分]
出演:ハッサン・ダラビ、マスワード・ザンドベグラー 監督・脚本:アッバス・キアロスタミ

サッカーに夢中な少年の、可笑しくもせつない冒険譚。キアロスタミ監督の瑞々しい長編デビュー作。



オリーブの林をぬけて
[1994年/イラン/103分] 出演:ホセイ・レザイ、タヘル・ラダニアン、モハマド=アリ・ケンヴァーズ、ザリヘ・シヴァ、ファルハッド・ケラドマンド 製作・監督・脚本・編集:アッバス・キアロスタミ

映画づくりの裏にはいつもドラマが隠されている。『友だちのうちはどこ?』『そして人生はつづく』に続く「ジグザク道三部作」完結。



友だちのうちはどこ?
[1987年/イラン/83分] 出演:ババク・アハマッドプール、アハマッド・アハマッドプール、ホダバフシュ・デファイ、イラン・オタリ 監督・脚本・編集:アッバス・キアロスタミ

友だちの家を探して、少年は必死で駆けていく。子どもの純朴さと不安をリアルに映し出した至福の傑作。



桜桃の味
[1997年/イラン・フランス/99分] 出演:ホマユン・エルシャディ、アブドルホセイン・バゲリ、アフシン・バクタリ、アリ・モラディ、ホセイン・ヌーリ 監督・脚本・製作・編集:アッバス・キアロスタミ

97年カンヌ国際映画祭・パルムドール受賞。巨匠アッバス・キアロスタミの名前を不動のものにした不朽の名作!



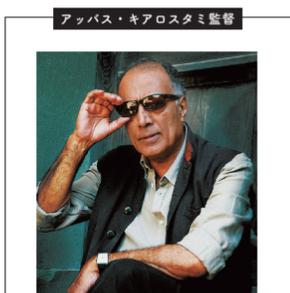
ホームワーク
[1989年/イラン/77分] 出演:シャビブ・マスミ小学校の生徒と親たち、アッバス・キアロスタミ (インタビュー、ナレーション) 監督・編集:アッバス・キアロスタミ

インタビューを通して見えてくる子どもたちの多彩な顔と言葉。宿題をテーマにした傑作ドキュメンタリー。



そして人生はつづく
[1992年/イラン/95分] 出演:ファルハッド・ケラドマンド、プーヤ・バイヴァール、ハドバル及びロフタマバードの住民 監督・脚本・編集:アッバス・キアロスタミ

『友だちのうちはどこ?』の少年たちを探し監督親子の旅。大地震の起きたイランで見つけたのは、生きることへの希望。



アッバス・キアロスタミ監督
『友だちのうちはどこ?』にはじまるジグザク道三部作や、カンヌ国際映画祭でパルムドールを受賞した『桜桃の味』などで知られるイランを代表する巨匠アッバス・キアロスタミ監督 (Abbas Kiarostami, 1940年6月22日 - 2016年7月4日)。詩や写真でも才能を発揮していた彼の映画は人生の真実にあふれ、観た者の心に忘れぬ記憶として今なお残りつづけている。

【鑑賞料金】 一般1,500円/*その他通常通り
【鑑賞特典】 上映期間中、2回鑑賞ごとにオリジナル・ポストカードを1種づつ、全7作品鑑賞でオリジナル・トートバッグをプレゼント。
ただし、特典在庫がなくなり次第終了となります。予めご了承ください



空白
[2021年/日本/107分] PG12 出演:古田新太、松坂桃李、田畑智子、藤原季節、趣里、伊東蒼、片岡礼子、寺島しのぶ 監督・脚本:吉田恵輔

空っぽの世界に、光はあるか。
ある日突然、まだ中学生の少女が死んでしまった。スーパーで万引きしようとしたところを店長に見つかり、追いかかれた末に車に轢かれたというのだ。娘の事など無関心だった少女の父親は、せめて彼女の無実を証明しようと、店長を激しく追及するうちに、その姿も言動も恐るべきモンスターと化し、関係する人々全員を追い詰めていく。
[上映日程] 1/8~28 (休映:1/11、17、24)



私はいったい、何と闘っているのか
[2021年/日本/114分] 出演:安田顕、小池栄子、岡田結実、ファーストサマーウイカ 監督:李闘士男 原作:つばきシロー「私はいったい、何と闘っているのか」(小学館刊) 主題歌:ウルトラ寿司ふあいや「今すぐアナタを愛したい」(AMUSE)

脳内はいつだって戦場だ!
伊澤春男・45歳はスーパー「ウメヤ」の万年主任。職場では店長の上田からの信頼も厚く、個性あふれる部下たちにも恵まれ、日々楽しく働いている。一方で家に帰れば、しっかり者の妻・律子、長女・小梅、次女・香菜子、小学生の長男・亮太の5人家族の父親で、典型的なマイホームパパ。しかし、一見平凡そうに見える春男の脳内は毎日戦場だった!
[上映日程] 1/15~2/4 (休映:1/17、24、31)



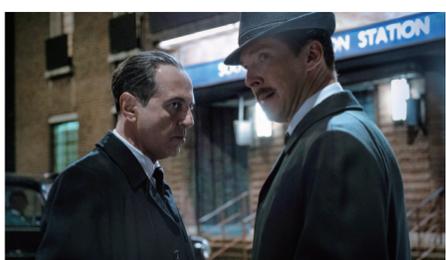
花束みたいな恋をした
[2020年/日本/124分] 脚本:坂元裕二 監督:土井裕泰 出演:菅田将晖、有村架純、清原果耶、細田佳央太、オダギリジョー、戸田恵子、岩松了、小林薫

何かがはじまる予感がして、心臓が鳴った——。
東京・京王線の明大前駅で終電を逃したことから偶然に出会った大学生の山音と八谷絹。好きな音楽や映画が噛み合い一緒に、あつという間に恋に落ちた妻と絹は、大学を卒業してフリーターをしながら同棲を始める。近所にお気に入りのパン屋を見つけて、拾った猫に二人で名前をつけて、渋谷パルコが閉店しても、スマスマが最終回を迎えても、日々の現状維持を目標に二人は就職活動を続けるが——。
[上映日程] 1/22~2/4 (休映:1/24、31)
[鑑賞料金] 一般¥1,500*その他通常通り



雨とあなたの物語
[2021年/韓国/韓国語/117分] 監督:チョ・ジンモ 出演:カン・ハヌル、チョン・ウヒ、カン・ソラ

降るはずのない雨を 僕は、待ち続けた——。
まだスマートフォンも SNS もなかった 2003 年韓国。夢も目標もなく、ソウルの予備校に通う浪人学生ヨンホは、あてもなく手紙を出す。一方釜山では、自分の夢を見つけられないまま母親と一緒に古書店を営むソヒが、ヨンホから姉のソヨンに届いた手紙を受け取る。ソヒは病気の姉に代わってある「約束」を条件に、手紙を交わしていく。「いくつカールを守ってほしい。『質問しない』『会いたいと言わない』、そして『会いに来ない。』」偶然始まった手紙のやり取りが、モノクロだった二人の日常を鮮やかに彩り始める。
[上映日程] 1/29~2/11 (休映:1/31、2/7)



クーリエ：最高機密の運び屋
[2020年/イギリス・アメリカ/英語・ロシア語/112分] 出演:ベネディクト・カンバーバッチ、メラブ・ニニゼ、レイチェル・プロズナハン、ジェシー・バツクリー 監督:ドミニク・クック

世界の運命は、一人のセールスマンに託された。
1962年10月、アメリカとソ連の対立は頂点に達しキューバ危機が勃発。世界中を震撼させたこの危機の裏で、英国人セールスマン、グレヴィル・ウィンが戦争の回避に決定的な役割を果たしていた。ウィンはスパイの経験など一切なかったが、CIA (アメリカ中央情報局) とMI6 (英国秘密情報部) の依頼を受け、モスクワに飛ぶ。国に背いたGRU (ソ連軍参謀本部情報総局) 高官と接触しては、そこで得た機密情報を西側に運び続けるが……。
[上映日程] 1/8~21 (休映:1/11、15~17)



83歳のやさしいスパイ
[2020年/チリ・アメリカ・ドイツ・オランダ・スペイン/89分] 監督・脚本:マイテ・アルベルディ 出演:セルヒオ・チャミー、ロムロ・エイトケン

優しいスパイが見つけたもの、それは人々の心の叫びだった——。
83歳のごく普通の男性セルヒオ。とある老人ホームの入居者が虐待されているのではないかと疑念があり、そのターゲットの様子を密かに克明に報告する、というのが彼に与えられたミッションだ。携帯電話の扱いひとつ不慣れたセルヒオが、眼鏡型の隠しカメラを駆使し、暗号を使って老人ホームでの潜入捜査を繰り返す様子に観客はハラハラしっぱなし。いつしか悩み多き入居者たちの良き相談相手となってしまふセルヒオだったが……。
[上映日程] 1/8~21 (休映:1/11、17)

お見逃しなく! 1/10まで上映中!

第1回 ベルリン国際映画祭
銀熊賞(審査員特別賞)受賞

驚きと戸惑いの映画体験が、いま始まる——

偶然と想像
Willy Posthumus' Fantasy

監督・脚本:漢口竜介
出演:古川琴音、中島歩、玄理、松川清彦、森郁月、甲斐翔真、占部房子、河井青葉

[2021年/日本/121分] PG12 監督・脚本:漢口竜介
© 2021 NEOPA / Fictive

第1話「魔法(よりもっと不確か)」
出演:古川琴音、中島歩、玄理

第2話「扉は開けたままで」
出演:漢川清彦、森郁月、甲斐翔真

第3話「もう一度」
出演:占部房子、河井青葉

COMING SOON

2/5〜『ひらいて』『シチリアを征服したクマ王国の物語』『MONOS 狼と呼ばれし者たち』、2/6〜『くまのアーネストおじさんとセレスティヌ』、2/11〜『ちょっと思い出しただけ』『地獄の黙示録 ファイナル・カット』、2/12〜『没後40年 セロニアス・モックの世界』『コレクティブ 国家の嘘』『スウィート・シング』、2/19〜『イン・ザ・スープ』『さがる』『帆花』『燃ゆる女の肖像』『トムボーイ』、2/26〜『アイム・ユア・マン 恋人はアンドロイド』『her/世界でひとつの彼女』『エル・プラネタ』『フランシス・ハ』『ジギー・スターダスト』、3/5〜『声もなく』『リトル・ガール』『Girl/ガール』、3/12〜『ロックフィールド 伝説の音楽スタジオ』『パーフェクト・ノーマル・ファミリー』『ひかり探して』『JOINT』、3/19〜『フタリセカイ』『わたしはロランス』、3/26〜『選ばなかったみち』、(順次)『MORE/モア』『渚の果てにこの愛を』『GUNDA/グンダ』『夜空に星のあるように』『春原さんのうた』『愛なのに』『猫は逃げた』.....and more

“台湾ニューシネマ”の旗手ホウ・シャオシェンをめぐる4作

【鑑賞料金】一般¥1,500・その他通常通り



台湾ニューシネマはなぜ生まれたのか？
侯孝賢は どこから来たのか？
そして どこへ向かうのか――

フランス映画の巨匠 オリヴィエ・アサイヤス監督作品

HHH: 侯孝賢

デジタルリマスター版

作品ゆかりの地を巡りホウ・シャオシェンの家園に迫る渾身のドキュメンタリー

©AMIP-La Sept ARTE-INA-France 1997

[1997年/フランス・台湾/92分] 監督:オリヴィエ・アサイヤス
出演:ホウ・シャオシェン、チュウ・ティエンウエン、ウー・ニンチェン、チェン・グオフ、ドゥー・ドゥージー、ガオ・ジエ、リン・チャン

台湾ニューシネマはなぜ生まれたのか？

フランスのオリヴィエ・アサイヤス監督が、台湾ニューシネマの旗手ホウ・シャオシェンと共に台湾を旅しながら彼の素顔に迫ったドキュメンタリー。ほとんどのホウ監督作の脚本を手がけてきたチュウ・ティエンウエンら、ホウ監督と共に台湾ニューシネマを牽引してきた映画人へのインタビューを交えつつ、『童年往事 時の流れ』『冬の夏休み』『非情都市』『戲夢人生』『憂鬱な楽園』といったホウ監督作の映像と共に、作品にゆかりのある鳳山、九フン、金瓜石、平溪、台北を巡る。

[上映日程] 1/15~21 (休映:1/17)

【鑑賞料金】一般¥1,500・その他通常通り

田村志津枝さんアフタートーク!

『童年往事 時の流れ』の字幕を手がけ、ホウ監督とゆかりのある田村志津枝さんのアフタートークを下記の通り企画しました!

1/15 sun	12:20~『HHH: 侯孝賢』上映 14:05~『童年往事 時の流れ』上映 16:25~アフタートーク(45分)
1/23 sun	12:40~『風が踊る』上映 14:25~『風櫃の少年』上映 16:05~アフタートーク(50分)



童年往事 時の流れ

[1985年/台湾/138分] 監督:ホウ・シャオシェン 脚本:ホウ・シャオシェン、チュウ・ティエンウエン 撮影:リー・ピンビン 出演:ユー・アンジュン、シン・シューフェン 字幕翻訳:田村志津枝

今でも、たびたび思い出す――。

少年の成長の年代記を、彼と家族の日常をめぐるささやかな出来事で綴る。主人公のアハは、47年広東省に生まれ、一歳のときに一家で台湾に移住した。ガキ大将的存在のアハだったが病弱な父は、アハの心に小さな影を落としていた…。ホウ・シャオシェン監督初期代表作。

[上映日程] 1/15~21 (休映:1/17)



風櫃の少年

[1983年/台湾/101分] 監督:ホウ・シャオシェン 原案・脚本:チュウ・ティエンウエン 出演:ニウ・チェンザー、チャン・シー、チャオ・パンジュー、チェン・ボージョン、リン・シウリン

世界の映画作家に多大な影響を与えた一作!

澎湖(ポンフー)島の風櫃(フンクイ)で暮らすアーチンは、仲間たちと喧嘩に明け暮れて無為な日々を送っているが、やがて警察沙汰を起こし、島にいらなくなる。故郷を離れて大都会・高雄に出た彼ら。けれど、誰にとっても思い描いたようには人生は進まず、それぞれが大人社会の過酷な現実と直面していく……。

[上映日程] 1/22~28 (休映:1/24)



風が踊る

[1982年/台湾/92分] 監督・脚本:ホウ・シャオシェン 出演:フォン・フェイフェイ、ケニー・ビー、アンソニー・チェン、メイ・ファン、シー・イン、チョウ・ワンシェン、ウー・リン、イェン・チェンゴ

ホウ・シャオシェンが世界に羽ばたく直前の瑞々しい佳作!

台北を離れ、香港に住む恋人のもとへ旅立とうとしている女性カメラマンのシンホイ。ある日、彼女は事故で失明したチンタイという青年に出会い、彼の素朴な人柄に惹かれてゆく。やがて角膜の移植手術を受けたチンタイは視力を取り戻し、初めてシンホイの顔を見ることになるが……

[上映日程] 1/22~28 (休映:1/24)

“香港ニューウェーブ”の旗手アン・ホイをめぐる3作



花椒の味

[2019年/香港/広東語・北京語/118分] 出演:サミー・チェン、メーガン・ライ、リー・シャオフォン、リウ・ルイテ、ウー・イェンシェン、リッシー・レン、ケニー・ビー、アンディ・ラウ プロデューサー:アン・ホイ、ジュリア・チュウ 脚本・監督:ヘイワード・マック

手を取り合って営む三姉妹の温かい味わい

旅行代理店で働くユージュは突然父を亡し、久しぶりに父リョンの火鍋店「一家火鍋」へ行った。遺品の携帯を見ていて、自分とよく似た名前があるのに気づく。葬儀の日、これまでお互いの存在を知らなかった三姉妹が、初めて顔を合わせることに。すぐに打ち解けた3人は、思い思いに父の思い出を話し出す。

[上映日程] 1/2~14



我が心の香港、映画監督アン・ホイ

[2020年/香港/119分] 監督:マン・リムチョン 主な登場人物:アン・ホイ、ナンサン・シー、ツイ・ハーク、フルーツ・チャン、ティエン・チュアンチュアン、ホウ・シャオシェン、アンディ・ラウ、ジャ・ジャンク、シルヴィア・チャン

“ただ、香港と映画を愛した”

『客途秋恨』『女人、四十。』などの作品で知られる今年74歳になる香港映画界の巨匠アン・ホイ。本作は、アジアの女性監督のトップランナーとして歩んできた彼女の40年に及ぶ映画人生に焦点を当てたドキュメンタリー映画である。

[上映日程] 1/8~14



桃さんのしあわせ

[2019年/中国・香港/広東語/119分] 監督:アン・ホイ 出演:デニー・イップ、アンディ・ラウ、チン・ハイルー、チョン・フイ、サモ・ハン、アンソニー・ウォン、ツイ・ハーク

笑い合える人がいれば、ささやかでも人生はきっとバラ色。

60年間仕えてきたメイドの桃さんが、ある日脳卒中で倒れた。雇い主の息子ロジャーは、その時初めて桃さんがかけがえのない人だったことに気づく。老人を巡る社会環境の現実を目の当たりにしながらも、献身的に尽くすロジャー。ふたりは、やがて母と息子以上の絆で結ばれていくが……

[上映日程] 1/8~14

【鑑賞料金】一般¥1,500・その他通常通り



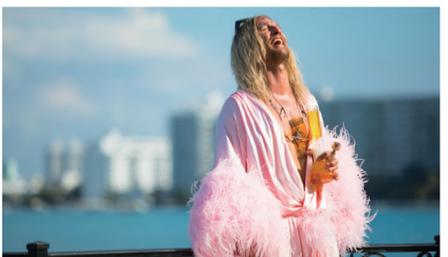
アナザーラウンド

[2020年/デンマーク/115分] 監督:トマス・ヴィンターベ 出演:マツ・ミケルセン、トマス・ボー・ラーセン、ラース・ランゼ

人生に祝杯を

冴えない高校教師とその同僚 3 人は、ノルウェー人哲学者の理論を証明するため、仕事にある一定量の酒を飲み、常に酔った状態を保つというんでもない実験に取り組む。すると、これまで情性でやり過ごしていた授業も活気に満ち、生徒たちとの関係性も良好になっていく。ゆっくりと確実に人生が良い方向に向かっていくのだが、実験が進むにつれだんだんと制御不能になり……

[上映日程] ~1/7



ビーチ・バムまじめに不真面目

[2019年/アメリカ/95分] 出演:マシュー・マコノヒー、スヌープ・ドッグ、アイラ・フィッシャー、ステファニア・オーウェン、ザック・エフロン、ジョナ・ヒル、マーティン・ローレンス、ジミー・パフエット 監督・脚本:ハーモニー・コリン

楽しんで生きるの、間違いだ。

ムードッグは、かつて天才と讃えられた詩人。しかし今は、謎の大富豪である妻ミニの果てしない財力に頼り、アメリカ最南端の“楽園”フロリダ州キーウエスト島で悪友ランジェリーらとつるみ、どんちゃん騒ぎの日々を送っている。そんな彼の気持ちいいもの、好きなものだけを追い求める超テキトーでポジティブな生き様は、束の間、光を放つ。

[上映日程] 1/15~21 (休映:1/17)

【鑑賞料金】一般¥1,500・その他通常通り



ローラとふたりの兄

[2018年/フランス/105分] PG12 監督:ジャン＝ポール・ルヴ 出演:リュディヴィーヌ・サニエ、ジョゼ・ガルス、ジャン＝ポール・ルヴ、ラムジュー・パティ、ポーリーヌ・クレマン

家族も、人生も、ままたらなくてとおしい。

フランス西部の都市・アングレーム。弁護士ローラにはちょっと困った2人の兄がいる。眼鏡士のブノワと解体業者のピエール。三兄妹は死別した両親の墓参りで月に一度は集まるのが習慣になっている。ある日、ブノワの三度目の結婚式、大遅刻してきたピエールの失礼なスピーチが原因で兄弟喧嘩が勃発。

[上映日程] 1/22~2/4 (休映:1/24,31)



リル・バック ストリートから世界へ

[2019年/フランス・アメリカ/85分] 監督:ルイ・ウォレカン

ただダンスが好きだった

ずっと踊り続けて、彼はメンフィスの光になった。どこよりもタフな闘争の街、メンフィス。タフな街に育った少年が唯一無二の世界的なダンサーとなり、メンフィスの子供たちの光になるまでの軌跡を描く感動的なドキュメンタリー。

[上映日程] 1/22~28 (休映:1/24)



場所はいつも旅先だった

[2021年/日本/78分] 監督:松浦弥太郎 朗読:小林賢太郎 主題歌:アン・サリー

旅が教えてくれた、自分らしい生き方。

サンフランシスコの24時間ダイナーでカップルが政治の話をしているとき、シギリアの若い僧侶は寺院の床を箒ではいている。マルセイユの漁師はまだ日のぼらない朝霧の中、相棒と船で沖に出ているとき、メルボルンのカフェでは夜勤明けの警察官がフラットホワイトをすすっている。わたしたちの知らないところで、どれかの朝がはじまり、どれかの夜が終わっている。

[上映日程] 1/8~21 (休映:1/11,17)



香川1区

[2022年/日本/156分] 監督:大島新

問われたのは、一人ひとりの民主主義。

人々が求めるのは、現状維持か変革か。この国の民主主義の成熟度はいかに……。2021年10月31日の投開票日、映画は有権者の手によって結末を迎えたが、それを機に新たな現実が大きくなるとなって動き始めている。そのただ中、本作は公開を迎える。

[上映日程] 1/29~ (休映:1/31)



さよなら、ティラノ

[2020年/日本/97分] 原作:宮西達也ティラノサウルスシリーズ『ずっとずっといっしょだよ』ほか(ポプラ社刊) 監督:静野孔文 音楽:坂本龍一 声の出演:三木眞一郎、石原夏織、悠木碧、小西克幸、井上喜久子、森川智之、植田修之、宮西達也、石塚運昇 エンディング曲『楽園をふたたび』:ハナレグミ&コトリンゴ

“ずっといっしょだよ。”

昔むかし大昔、人間たちが生まれるよりも、もっともっと昔のお話です……。そのころ、地球には恐竜という生き物が棲んでいました。ところが、氷河期が近づいてきて世界は荒廃しようとしていました。そんな中、独りで旅するプテラノドン少女ボンとティラノサウルスのティラノが出会います。旅の途中、そこで彼らを待ち受けていたものとは……

[上映日程] 1/2~10、15~16、22~23、29~30

ノーマン・ザ・スノーマン

少年と雪だるまノーマンの冒険の物語。

～北の国のオーロラ～

[2013年/日本/25分] 声の出演:小田恵大、吉野裕行、野島昭生、石島しほり、西川貴裕、野島裕史 脚本・監督:アニメーション:八代健志

～流れ星のふる夜に～

[2016年/日本/25分] 声の出演:小田恵大、吉野裕行、梶裕貴、石島しほり、影木香里、野島裕史、石橋敬郎、泉田岳、野田哲平、室伏佑哉、池下ひまる、本多明鈴日、小川福万理 監督・人形造形・アニメーション:八代健志

[上映日程] 1/8-9、15-16、22-23、29-30

【鑑賞料金】週末子ども映画館料金 他、一般¥1,500、その他通常通りです。



新春！犀の寄席 2022

ワラッて、ハジケて、流行り病を弾き飛ばせ！

病は気からという諺があるように、気の持ちようで良くも悪くもなると言われております。依然、流行り病には振り回されていますが、年明けはワラッてハジケて、気を明るく、過ごしたいものです。新年は縁起良く、大いに盛り上がり、一緒に楽しみましょう！

【日時】1月8日(土)
昼の部：13時開演 / 夜の部：17時開演
※開場・受付：各回30分前 ※各回入れ替え制

【チケット】1日通し券：一般 3,000円 / U-22 2,500円 / 小学生以下 1,000円
ブロック券：2,500円

*1日通し券は昼・夜の部どちらもお楽しみいただけます。
ブロック券の場合は昼または夜の部のどちらかのみ鑑賞できます。

予約▶



着物でカンゲキ

ご友人・カップル・ご家族・おひとり着物を着て落語を楽しみませんか？着物でご来場いただいたお客様には犀の角限定の特典品を贈呈いたします！

特設飲食スペース

ソフトドリンク・アルコール類・おつまみ等の提供がございます。感染症対策のため、通常の客席では飲食ができませんが、ご希望の方は特設の飲食スペースでお楽しみください。



【出演】



★1月3日のおふるまいにて開催する「のきした素人演芸大会」を勝ち抜いた期待の新人も出演予定。どうぞお楽しみに！

第5回 のきした おふるまい 「年越しアード 2022 年お正月スペシャル!!」

のきしたおふるまいも丸っと1周年を迎えます。これまでイロんな人たちと出会ってきましたね。今回はみんなで集まって、あったかいお鍋を食べます。食料など物資を提供する「かさじぞう」、イロイロ倶楽部のお正月遊びコーナー、新春ならではのオープンマイク「のきした素人演芸大会」など盛りだくさんです。年末年始、みんなでハッピーになりましょう！

1月3日(月) 11時30分～15時30分
(食事の提供は13時まで)

11時30分～13時 「お鍋のおふるまい」
13時30分～15時30分「のきした素人演芸大会」
*その他お正月のお楽しみコーナーもあり！



1月1日～2日の2日間もお鍋をおふるまいします。12月31日のお年越しは「年越しそば」も。薪、鍋の食材、調味料などの寄付も募集します。

木村玲奈ダンス作品

どこかで生まれて、どこかで暮らす。 上田にて

青森市出身の振付家・ダンサーの木村玲奈さんが2012年から継続している振付作品・プロジェクト『どこかで生まれて、どこかで暮らす。』コロナ禍で移動することや集うことについて悩み考える時間を経て、約2年ぶりの滞在制作・公演を犀の角で行います。



撮影: saori&joy

滞在期間: 2021年12月24日(金)～2022年1月6日(木)
公演: 1月5日(水)①19時30分 / ②26時
※開場・受付: 各回15分前 ※上演時間: 約60分

プロジェクトメンバー: 遠藤リョウノスケ、鐘ヶ江敬一、佐藤有華、重里実穂、田添幹雄、中間アヤカ、木村玲奈 振付: 木村玲奈 / 映像: 鐘ヶ江敬一 / 照明オペレーション: 伊藤茶色 / 舞台監督: 村上梓 / 宣伝美術: 夜ノ帳社

料金: 2,000円 ※未就学児入場可(無料)

お問い合わせ: 419with@gmail.com (担当: 藤澤)

主催: 「どこかで生まれて、どこかで暮らす。」プロジェクト、(一社)シアター&アーツうえだ
企画制作: (一社)シアター&アーツうえだ、藤澤智徳(ミッドナイトダンス講) 協力: 橋本麻希、三浦あさ子 特別協賛: 藤澤家

予約はこちら▶



月影瞳コンサート 「Home coming ~ ただいまの唄が、聴こえる。」

上田市出身の元宝塚歌劇団娘役トップスターで、上田市観光大使、上田映劇理事でもある月影瞳さんの上田凱旋コンサートに、未来を担う64名の子どもたちを無料ご招待！上田に古くから伝わる民話の朗読とシャンソンやミュージカルの名曲の数々など、2022年で宝塚歌劇団退団20周年となる月影瞳さんの魅力を余すことなく堪能できるコンサートをご家族でお楽しみください。

日時: 2月23日(水・祝)
14時開演(13時開場)
※上演時間: 約120分(途中休憩20分)

出演: 月影瞳 / 高原伸輔 / 青柳茉莉恵(ピアノ)
会場: サントミュージゼ
上田市交流文化芸術センター小ホール

チケット: S席: 8,000円 全席指定
A席: 6,000円
18歳以下の子ども無料ご招待
(64席限定・窓口販売のみ)



子供たちと一緒にコンサートを見に行こう

地域の未来を担う子供達に上田の歴史やミュージカルの魅力を伝えるべく、6歳～18歳の子どもの無料招待枠を設けました。お誘い合わせの上、是非お出かけください！

①一緒に観に行く約束をする

今回のコンサートは原則的に保護者同伴の観劇に限らせていただいております。ただ、保護者とは血縁関係に限られません。お知り合いのお子さんを連れていく、先生が生徒さんを連れて観に行く、なんて方法でもOK! 誘い合って是非お越しくださいませ!(※無料招待枠のお子様につきましては受付時に学生証や身分証など年齢の分かるものをご提示をお願いいたします。確認できない場合は観劇をお断りすることがあります。※未就学児はご観劇いただけません。)

②チケットを買う

サントミュージゼの窓口のみでの取り扱いとなりますので、お手数ですがサントミュージゼまで足をお運びください。購入の際はお客様が同伴する必要はなく、証明の必要もありません。お好きな席を選んで購入可能です!(サントミュージゼ窓口 9時～19時 休館日: 火曜日(祝日の場合は翌平日))

③楽しむにする

チケットは当日まで大切に保管してください。紛失などされた場合も再発行はいたしません。公式Twitterでは準備や稽古の様態などお届けしております。是非チェックしてみてくださいね! @Homecoming0223



主催: 一般社団法人シアター&アーツうえだ 協賛: 信州うえだ月影瞳の会、上田商工会議所 後援: 上田市、上田市教育委員会、上田商工会議所 協力: 観劇クラブ、株式会社ヘリンボン、百承亭、お肌の専門店 わかまつ、株式会社キョードーファクトリー

チケット及びお問い合わせ

犀の角 / シアター&アーツうえだ

〒386-0012 長野県上田市中心2丁目11-20
TEL: 0268-71-5221 MAIL: info@sainotsuno.org
営業時間: 7:30～10:00 / 16:00～21:30 月曜定休



SHOP

この『SHOP』のコーナーの取材・執筆を担当しているのが、「あしたへ続く、心豊かな暮らし方」を発信する情報ポータルサイト「リラクオーレ LiraCuore」です。上田市をはじめとする東信地区を中心に長野県内のお店や施設、人、活動などを紹介するとともに、マルシェや上映会、展示会などのインフォメーションもお届けしています。また、上田・小諸・佐久などでのマルシェやパン＆お菓子祭り、ワークショップ＆クラフトフェアなどといったイベントを主催しています。



『あしたへ続く、心豊かな暮らし方』を信州から。

<http://LiraCuore.jp>

菜食料理 パザパ
リラクオーレ



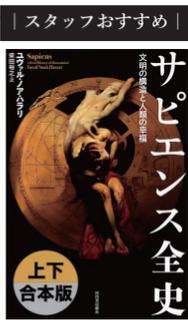
リラクオーレ LiraCuore : <https://liracuore.jp/>
「リラクオーレ」で検索
Facebook、Twitter、Instagram もご覧ください。

スタッフおすすめ

サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福

[ユヴァル・ノア・ハラリ著/柴田裕之訳/河出書房新社/2016年]

ヒト(=ホモ・サピエンス)の現在地を、俯瞰的な視点から再確認できる本です。全生態系の中で「ヒト」という存在がいかに特異であり、その「ヒト」が当たり前に過ごしている今という時代が、地球上に流れている自然の時間軸から見て、非常に特殊な時代だということが分かります。さて、これからどこへ向かいましょうか？(スタッフ・小暮慎一)



BOOK

はるか昔と比べたら天然記念物のような存在になってしまっているかもしれませんが、今も“手紙”というものが残っていることを嬉しく思うことがあります。山小屋で夏を過ごしている間にも手紙を送りあった友人たちがいて、互いの手紙が届くことを今か今かと待ちわびる楽しみを思い出し、届いた手紙の封を開くとき、何から書こうかと悩みながらペンを手にとるとき、ささやかなどきどきを味わいました。映画や本の中にふと現れる手紙は自分に宛てられたものではないのに、それでもなぜか登場人物へと心を寄せて嬉しくなったり悲しくなったり、言葉のひとつひとつに一喜一憂してしまうものがあります。

今回紹介するこちらの本は、2人の作家による14通の手紙のやりとりだけで書かれた“書簡体小説”。小説なのですべてフィクションですが、手紙にしたためられた文章から、2人の関係を想像しながら読み進めていきます。2人の本当のところの気持ちはわかりません。行間に生まれる余白の美しい1冊です。

書麓 アルプ

2022年も本棚の間借りとイベント出店の2つのかたちで古本を皆さまに手渡していきたいと思えます。山や自然にまつわる本を中心に、暮らしの読みもの、アート・映画・音楽の本、絵本、詩集、エッセイなど買取いたします。お気軽にご相談くださいませ。



あとには切手を、一枚貼るだけ

小川洋子・堀江敏幸/中央公論新社

ARTS & CARES

NPO 法人リベルテ

NPO 法人リベルテは「何気ない自由」が生まれる表現と居場所づくりを障害のある人たちとともにを行っています。北大手にある roji というアトリエで「路地の開き」という取り組みをしています。金曜日と土曜日に「小さな公園」をつくらうと作業をしています。見学、お手伝い大歓迎！遊びに来てください。

NPO 法人リベルテ
<https://npo-liberte.org>
TEL 0268-75-7883

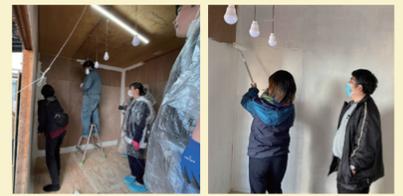


あけましておめでとうございます。昨年は路地裏にあるので roji と名付けたアトリエを開き、8年活動したアトリエの引っ越しなど、リベルテは特に変化の多い1年でした。roji の小さな庭で行っている企画「路地の開き」は本格的な庭の作業が始まりました。メンバーやスタッフ、スタッフの友人、地域の高校生やアーティストも参加して、土地を平らにしたり納屋をギャラリーにすべくペンキを塗ったりと作業を行っています。一昨年の展示会「ちくわがうらがえる」や最越あるとさんと企画している定例のゲームの会と合わせて、庭づくりやこれから植える植物の管理、そして納屋のミニギャラリーと、まるで小さな公園のような場所になっていそうです。高校生とは定期的にイベントで使えるかな、どうかな、と相談もしています。NPO による福祉制度で運営している公共空間として、roji が障害のある人たちが集まる場所であることが、地域の人も立ち寄りやすくなる場所になればいいと思っています。そして、リベルテの「福祉」が生まれる場所として、2022年はこのアトリエに「小さな公園」ができればいいな。

タイトル・S.S.G 文・武捨和貴(むしゃかずたか)

ちくわが ARTIS NOT TOOL, THIS IS LIFE. その19 うらがえる 路地の開き日記④

小さな庭、小さな「公園」にしたい 2022 の巻



上田映劇 お得なチケットのお知らせ

上田映劇 特別会員

年間費 1 万円

- ・シートオーナーになれる(劇場に専用シートを持てる)
- ・上田映劇特別会員専用、映劇手帳を発行。(有効期限は発行日より1年間)
- ・手帳ご提示で、当館の通常上映は、いつでも ¥1,000 (初回は無料) で鑑賞いただけます。(但し特別興行作品、イベントにはご利用いただけません。)
- ・希望者には、上田映劇ジャーナルをご自宅に送付。

上田映劇 回数券

3,900 円 3 枚綴り

- ・有効期間内 1 枚につき、1 作品で鑑賞いただけます。
- ・特別興行作品、イベントにはご利用いただけません。
- ・有効期間: 販売日より 3 か月有効。

上田映劇 福利厚生券

1 枚あたり 1,200 円
最低 100 枚から販売

- ・有効期間内 1 枚につき、1 作品で鑑賞いただけます。
- ・特別興行作品、イベントにはご利用いただけません。
- ・有効期間: 販売日より 1 年間有効。・個人のお客様には販売していません。
- ・購入方法、購入枚数の相談など、詳しくは劇場にお問い合わせください。

フレフレ割

古本で映劇を応援!
1,500 円

NPO 法人上田映劇は、地域の NPO を古本で応援する「FURE FURE BOOKS (フレフレブックス)」の活動に参加しています。ご家庭に眠っている古本を劇場にお持ちいただくと、その本は上田に本社がある古本買取販売会社のバリューブックスで査定・販売され、売り上げが上田映劇に寄付されます。ぜひみなさま、お家に眠っている古本をご寄付ください!

*鑑賞時に古本をお持ち頂くと、割引価格で映画をお楽しみいただけます。古本の他にも CD や DVD、ゲームなどもご寄付いただけます。詳しくは劇場までお問い合わせください。

映劇を自由に使って思い思いのイベントを開きませんか?

映画上映会はもちろん、ライブ・コンサートに講演会。客席 250 の映劇はみなさまの企画をカタチにするのにピッタリの大きさです。ホールレンタルの相談は随時承っております。会場をお探しの皆さま、ご相談はお気軽に劇場スタッフまで。

信州エコサービス 広告

猫の手 一般廃棄物収集運搬業許可 1081
長野県公安委員会 古物商許可 481101400014

おすすめプラン

- 軽トラック 1 台丸ごと積み放題プラン
9,800 円～最大 25,000 円まで
- 軽トラック 2 台丸ごと積み放題プラン
最大 40,000 円まで
- 2t トラック 1 台丸ごと積み放題プラン
最大 60,000 円まで

ホームページでなんでもお気軽にご相談ください!
お問い合わせフォームはこちら

0268-43-3050
〒386-0406 長野県上田市下丸子 325 FAX 0268-43-3050
【営業時間】8:00～20:00(日曜・祝日・年末年始も対応) 【定休日】不定休
【HP】<https://www.shinsyu-eco-service.com/>

広告掲載 大募集!

毎月、月末に発行している上田映劇ジャーナルは、映画だけでなく、演劇や古本、街のあらゆるアートにつながる情報を掲載しています。現在広告を出してくださる企業・店舗・個人事業主の方を大募集中! 料金や詳細は、お気軽に劇場スタッフまでご相談ください!

